

株式会社新日本科学
鹿児島県鹿児島市宮之浦町2438
代表取締役会長兼社長
永田 良一 様

検証目的

SGSジャパン株式会社（以下、当社）は、株式会社新日本科学（以下、組織）からの依頼に基づき、組織が作成した検証対象（以下、GHG等に関するステートメント）について、検証基準（ISO14064-3:2019及び当社の検証手順）に基づいて検証を実施した。本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHG等に関するステートメントについて、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。GHG等に関するステートメントの作成及び公正な報告の責任は組織にある。

検証範囲

検証対象は、Scope1 及び Scope2、エネルギー消費量、Scope 3、取水量・排水量である。
対象期間は2021年4月1日～2022年3月31日である。
詳細な検証対象範囲は別紙参照。

検証手順

本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。

- 算定体制の検証：検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証：鹿児島本店／安全性研究所及びメディポリス指宿の現地検証及び証憑突合、本社でのその他検証対象範囲に対する分析的手続き及び質問

判断基準は、温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（Ver. 4.8）、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（Ver.2.4）同算定のための排出量原単位データベース（Ver. 3.2）及び組織が定めた手順を用いた。

結論

前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHG等に関するステートメントが、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。
なお、当社は、組織から独立しており、公平性を損なう可能性や利害の抵触はない。

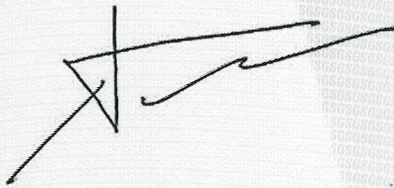
SGSジャパン株式会社

神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134

横浜ビジネスパーク ノーススクエア I

認証・ビジネスソリューションサービス 事業部長
上級経営管理者

竹内 裕二




検証対象範囲の詳細

検証対象		検証範囲	GHG等に関するステートメント
1	Scope 1, 2(エネルギー起源二酸化炭素)及びエネルギー消費量	鹿児島本店/安全性研究所、薬物代謝分析センター及びメディポリス指宿	Scope1 : 3,145t- CO ₂ Scope2 : マーケットベース : 8,416t- CO ₂
2	Scope 3 (カテゴリー-5,6)	カテゴリー-5 : 鹿児島本店/安全性研究所、薬物代謝分析センター及びメディポリス指宿 カテゴリー-6 : 組織単体	カテゴリー-5 : 115t- CO ₂ カテゴリー-6 : 131t- CO ₂
3	取水量・排水量	鹿児島本店/安全性研究所、薬物代謝分析センター及びメディポリス指宿	取水量 : 667千m ³ 排水量 : 667千m ³